

令和 6 年 6 月 17 日

東京都水道局長

西山 智之 様

東京水道グループ

コンプライアンス有識者委員会

委員長	幸田	雅治
委員長代理	中西	晶
委員	菊池	明敏
委員	羽根	一成
委員	松山	遙
委員	矢野	奈保子

令和 5 年度東京都水道局内部統制評価報告書に対する意見について

東京水道グループコンプライアンス有識者委員会設置要綱第 2 条（1）に基づき、令和 5 年度における東京都水道局の内部統制に対して、下記のとおり意見を付します。

記

1 意見の対象

令和 5 年度東京都水道局内部統制評価報告書

2 検証方法

東京水道グループコンプライアンス有識者委員会では、令和 5 年度に開催した 2 回の委員会で、東京都水道局から、局横断的な内部統制の取組、業務レベルの内部統制の取組、グループガバナンスの強化に向けた取組の状況について報告を受けるとともに、「令和 5 年度東京都水道局内部統制評価報告書」の提出を受けた。

本意見書は、委員会が外部の客観的視点及び局全体を俯瞰する組織横断的な視点から、東京都水道局の内部統制の取組を検証し、各委員の述べた意見を集約したものである。

3 意見の内容

(1) 内部統制の有効性の判断について

- ・東京都水道局の内部統制が、評価基準日において有効に整備され、評価対象期間において有効に運用されているとの判断は、おおむね相当である。
- ・内部統制の体制が整ってきたことは評価できるが、残された課題に対しても業務改善の視点も意識するなど工夫して取り組んでほしい。

(2) 公益通報・ハラスメント相談に対する信頼性の向上について

- ・職員の意識調査によると「通報しても適切な調査や是正措置が行われれないと思うから」という理由や「通報・相談したことが職場に伝わる」、「窓口が漏らさなくても職場内での噂話が広まる」といった理由から、制度や窓口を信頼していない職員がいることが確認された。公益通報やハラスメント相談を有効に機能させる上で、信頼の低さが浮き彫りになったことは大きな課題である。
- ・公益通報・ハラスメント相談に対する信頼性の向上に向けて、具体的な対策に取り組んでいくことが重要である。

(3) リスクへの改善事例について

- ・個人情報の流出は社会的な問題として注目されている。水道局が保有する個人情報についても、流出した場合に犯罪に使われるリスクもあることから十分に注意されたい。
- ・顕在化したリスクへの改善事例は、該当部署に限った改善策に留めるのではなく、関係部門の横断的な対策につながるよう水平展開をしていくことが重要である。

(4) 心理的安全性の高い職場づくりについて

- ・組織間コミュニケーションは、組織に新たな気づきをもたらすとともに、何をすべきか理解を深めるために重要である。心理的安全性では縦のコミュニケーションが注目されがちだが、横のコミュニケーションも重視し、積極的に取り組んでほしい。
- ・職員の意識調査によると「自己成長や達成感が感じられない」などと答える職員も多く、エンゲージメントに関する課題が確認された。一方で、先の能登半島地震では水道の重要性があらためて確認された。水道は人々の生活を根本から支える重要なインフラであり、それを職員の皆さんが支えているという事実を各自が自覚することが重要である。是非、職員のやりがいや誇りに繋がる取組を進めてほしい。